

平成20年度

# 滝川市教育委員会の活動状況に関する点検・評価報告書



滝川市いじめ根絶シンボルマーク最優秀作品

平成22年2月

滝川市教育委員会



## はじめに

地方教育行政の組織及び運営に関する法律の改正により、教育委員会は、毎年、その権限に属する事務の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、その報告書を議会に提出するとともに、公表することが義務付けられました。また、その際、客観性を確保する観点から、教育委員会以外の学識経験者による知見の活用を図ることになりました。

滝川市教育委員会は、効果的な教育行政の推進に資するとともに、市民の皆様への説明責任を果たすため、学識経験者、保護者、関係団体から成る「滝川市教育委員会の権限に属する事務の外部評価会議」からご意見等をいただきながら、平成 20 年度の教育委員会の事務の管理・執行状況について点検・評価を行い、報告書を作成・公表いたしました。

この点検・評価報告書を通じて施策の効果の検証と改善を図りながら、教育施策を着実に推進していきたいと考えていますので、皆様の一層のご理解とご協力をお願い申し上げます。

平成22年 2月

滝川市教育委員会

## 目 次

### 1 教育委員会の活動状況について

- (1)教育委員会の会議の開催状況 ..... 1 ～ 4
- (2)条例・規則等の制定、計画等の策定状況について ..... 5

### 2 教育委員会に関する事務の管理及び執行の状況の点検・評価報告書

- (1)点検・評価の流れについて ..... 6
- (2)点検・評価報告書について ..... 7
  - ①幼稚園教育推進事業 ..... 8
  - ②確かな学力の向上を目指す教育の推進 ..... 9
  - ③適応指導教室の運営事業 ..... 10
  - ④心の教育推進事業 ..... 11
  - ⑤高等学校教育の充実 ..... 12
  - ⑥家庭教育支援の推進 ..... 13
  - ⑦青少年活動の推進 ..... 14
  - ⑧生涯学習活動の推進 ..... 15
  - ⑨図書館活動の充実 ..... 16
  - ⑩学校との連携による子どもの読書活動支援 ..... 17
  - ⑪芸術文化の振興 ..... 18
  - ⑫歴史的文化遺産の保存と活用 ..... 19
  - ⑬博物館活動の充実 ..... 20
  - ⑭企画展開催事業 ..... 21
  - ⑮生涯スポーツ・体力づくりの推進 ..... 22
  - ⑯競技スポーツ環境の充実及び支援 ..... 23

# 1 教育委員会の活動状況について

## (1)教育委員会の会議の開催状況

滝川市教育委員会の会議は原則として公開で、毎月1回を基本として開催するほかに、必要に応じて臨時会議を開催しています。また、滝川市教育委員会が所管する事項について調査及び研究を行うことにより様々な教育課題に対する活発な議論を行うため、滝川市教育委員協議会を設置しています。

### ①教育委員会議

13回開催しました。

開催日	付議案件等
20. 4. 22	[議案] ・事務局職員の懲戒処分について
20. 4. 24	[議案] ・滝川市教育委員会行政機構の改革等に伴う関係規則の整備等に関する規則 ・滝川市教育委員会行政機構の改革等に伴う関係規程の整備等に関する規定 ・滝川市就学指導委員会議委員の選出について ・滝川市社会教育審議会委員の委嘱について [その他] ・「いじめに関するアンケート」調査結果について ・社会教育施設耐震診断の結果について ・平成20年度第1予算審査特別委員会討論要旨について ・滝川市高等学校のあり方に関する検討市民会議について
20. 5. 26	[選挙] ・委員長の選挙について [議案] ・委員長職務代理者の指定について ・滝川市立幼稚園保育料等徴収条例施行規則の一部を改正する規則 ・滝川市少年育成センター指導員の委嘱について ・学校職員の懲戒処分について [その他] ・平成20年度市議会第2回定例会教育部補正予算について ・教育委員会の点検・評価について ・麻しんによる臨時休校等措置及び出席停止状況について ・北海道の教員の評価制度について ・教職員の勤勉手当制度の改正について ・滝川市内高等学校再編に関する検討結果報告書について ・心の教育学校サポート事業の教育相談員について ・社会教育施設の利用状況について
20. 6. 25	傍聴者1名 [議案] なし [その他] ・平成19年度文部科学省「幼児期の体力向上調査」について ・「平成20年度5月分教育相談報告書」について ・「学力向上のために」について ・地震防災対策特別措置法改正の要旨について ・平成20年第2回市議会定例会一般質問について
20. 7. 30	傍聴人1名

	<p>[議案]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・滝川市教育委員会の権限に属する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価に関する規則について</li> <li>・滝川市立学校管理規則の一部を改正する規則</li> <li>・平成 21 年度から使用する小学校用教科用図書の採択について</li> <li>・平成 21 年度に使用する中学校用教科用図書の採択について</li> <li>・学校職員の懲戒処分内申について</li> </ul> <p>[その他]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・平成 20 年度市議会臨時会教育部補正予算について</li> </ul>
20. 8. 18	<p>[議案]</p> <p>なし</p> <p>[その他]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・スクールカウンセラーの活動報告について</li> <li>・平成 20 年度第3回市議会定例会教育部補正予算について</li> <li>・「滝川工業高等学校の活性化について～土木科存続に向けて～、北海道滝川工業高等学校土木科の存続に係る要望書」について</li> <li>・平成 20 年度北海道都市教育委員会連絡協議会定期総会について</li> </ul>
20. 9. 26	<p>[議案]</p> <p>なし</p> <p>[その他]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・平成 20 年度第3回市議会定例会一般質問について</li> <li>・図書館の移転について</li> <li>・小学校遊具事故に係る損害賠償請求調停事件について</li> </ul>
20. 10. 29	<p>傍聴人1人</p> <p>[議案]</p> <p>なし</p> <p>[その他]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・公立学校施設整備費補助金等に係る財産処分手続の弾力化及び廃校活用事例の周知について</li> <li>・学校評議員のアンケート結果について</li> <li>・学校評価に関する検討報告書について</li> <li>・全国学力・学習状況調査結果について</li> <li>・小学校遊具事故に係る損害賠償請求調停事件について</li> </ul>
20. 11. 25	<p>傍聴人1人</p> <p>[議案]</p> <p>なし</p> <p>[その他]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・平成 20 年第4回市議会定例会教育部補正予算について</li> <li>・いじめ根絶シンボルマークの決定について</li> <li>・「学力向上のために」について</li> </ul>
20. 12. 25	<p>傍聴人2名</p> <p>[議案]</p> <p>なし</p> <p>[その他]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・女子児童自殺事件提訴について</li> <li>・「平成 20 年度 11 月分教育相談報告書」について</li> <li>・平成 20 年第4回市議会定例会一般質問について</li> </ul>
21. 1. 23	<p>[議案]</p> <p>なし</p>

	<p>[その他]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「学校改善プラン」について</li> <li>・児童生徒の事故報告について</li> </ul>
21. 2. 17	<p>傍聴人1人</p> <p>[議案]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・平成 21 年度教育予算について</li> <li>・滝川市立高等学校教員等の定数、給与、勤務時間その他勤務条件及び定年による退職等に関する条例の一部を改正する条例</li> <li>・滝川市立高等学校の授業料等徴収条例の一部を改正する条例</li> <li>・滝川市美術自然史館条例等の一部を改正する条例</li> <li>・滝川市教育委員会の活動状況に関する点検・評価報告書について</li> <li>・損害賠償請求事件に係る市長からの事務の委任について</li> <li>・損害賠償請求事件に係る教育長への事務の委任について</li> </ul> <p>[その他]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「平成 21 年度教育行政執行方針」について</li> <li>・平成 21 年第1回市議会定例会教育部補正予算について</li> <li>・西高生徒の進路状況について</li> <li>・「図書館まちなか移転」に関する社会教育審議会への諮問について</li> </ul>
21. 3. 30	<p>傍聴人1名</p> <p>[議案]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「中学校男子生徒の飛び降り事件に係る調査報告書」に係る滝川市教育委員会としての取組について</li> <li>・滝川市奨学金貸付条例の一部を改正する条例</li> <li>・滝川市立学校管理規則の一部を改正する規則</li> <li>・滝川市立幼稚園園則の一部を改正する規則</li> <li>・滝川市立高等学校の授業料等徴収条例施行規則の一部を改正する規則</li> <li>・滝川市立公民館条例施行規則の一部を改正する規則</li> <li>・滝川市美術自然史館条例施行規則等の一部を改正する規則</li> <li>・道費負担教職員の任免に係る内申について</li> <li>・滝川市立学校教員及び滝川市教育委員会事務局職員の任免について</li> <li>・学校評議員の委嘱について</li> <li>・滝川市文化財保護審議会委員の委嘱について</li> <li>・滝川市体育指導員の委嘱について</li> <li>・教育相談員の委嘱について</li> </ul> <p>[その他]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・平成 21 年第1回市議会定例会一般質問について</li> <li>・平成 20 年度卒業式における国旗・国歌の実施状況について</li> </ul>

## ②教育委員協議会

23 回開催しました。

開催日	調査及び研究内容
20. 4. 1	<ul style="list-style-type: none"> <li>・平成 20 年度心の教育学校サポート事業の認定審査一覧表について</li> <li>・平成 20 年度教育委員の懇談会及び視察等日程について</li> <li>・平成 20 年度学校年間行事一覧表について</li> </ul>
20. 6. 25	<ul style="list-style-type: none"> <li>・小学校遊具事故に係る損害賠償請求調停事件について</li> <li>・小中学校適正配置について</li> <li>・滝川工業高等学校活性化プランについて</li> <li>・学校職員の処分について</li> </ul>
20. 7. 30	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価の実施方針について</li> </ul>

	<ul style="list-style-type: none"> <li>・滝川市教育委員会の権限に属する事務の外部評価会議設置要綱について</li> <li>・小中学校の適正配置について</li> <li>・学校職員の処分について</li> <li>・8月1日付け人事異動等について</li> </ul>
20. 8. 18	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校の適正配置に係るアンケート結果の概要について</li> <li>・学校訪問について</li> <li>・学校祭、学芸会について</li> </ul>
20. 9. 17	<ul style="list-style-type: none"> <li>・小中学校適正配置基本計画について</li> <li>・小学校遊具事故に係る損害賠償請求調停事件について</li> <li>・中学校灯油漏れについて</li> </ul>
20. 9. 26	<ul style="list-style-type: none"> <li>・小中学校適正配置基本計画について</li> </ul>
20. 10. 8	<ul style="list-style-type: none"> <li>・小中学校適正配置基本計画について</li> <li>・校長・教頭管理職住宅について</li> </ul>
20. 10. 29	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新タッグ計画に係る教育部の削減について</li> <li>・小中学校適正配置基本計画について</li> <li>・学校訪問について</li> </ul>
20. 11. 11	<ul style="list-style-type: none"> <li>・小中学校適正配置基本計画について</li> </ul>
20. 11. 18	<ul style="list-style-type: none"> <li>・小中学校適正配置基本計画について</li> </ul>
20. 11. 25	<ul style="list-style-type: none"> <li>・小中学校適正配置基本計画について</li> </ul>
20. 12. 3	<ul style="list-style-type: none"> <li>・小中学校適正配置基本計画について</li> </ul>
20. 12. 10	<ul style="list-style-type: none"> <li>・小中学校適正配置基本計画について</li> </ul>
20. 12. 25	<ul style="list-style-type: none"> <li>・図書館移転について</li> <li>・平成 20 年度新任教育委員研修会について</li> <li>・小中学校適正配置基本計画について</li> </ul>
21. 1. 8	<ul style="list-style-type: none"> <li>・平成 21 年度予算について</li> <li>・適正配置計画の素案について</li> </ul>
21. 1. 16	<ul style="list-style-type: none"> <li>・適正配置計画の素案について</li> <li>・女子児童自殺事件提訴について</li> </ul>
21. 1. 23	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新滝川市活力再生プランについて</li> <li>・適正配置計画の素案について</li> <li>・女子児童自殺事件提訴について</li> </ul>
21. 2. 4	<ul style="list-style-type: none"> <li>・平成 19 年度「教育委員会の活動状況に関する点検・評価報告書」について</li> <li>・小学校遊具事故に係る損害賠償請求調停事件について</li> </ul>
21. 2. 12	<ul style="list-style-type: none"> <li>・平成 19 年度「教育委員会の活動状況に関する点検・評価報告書」について</li> <li>・適正配置計画の素案について</li> <li>・女子児童自殺事件提訴について</li> </ul>
21. 2. 17	<ul style="list-style-type: none"> <li>・適正配置計画の素案について</li> <li>・児童館資料について</li> <li>・女子児童自殺事件提訴について</li> </ul>
21. 2. 26	<ul style="list-style-type: none"> <li>・適正配置計画の素案について</li> </ul>
21. 3. 9	<ul style="list-style-type: none"> <li>・男子中学生飛び降り事件について</li> </ul>
21. 3. 19	<ul style="list-style-type: none"> <li>・男子中学生飛び降り事件について</li> </ul>

## (2) 条例・規則等の制定、計画等の策定状況について

平成 20 年度に制定された教育関係条例等の数は 3 件、教育委員会規則の数は 9 件です。(施行年月日が H20. 4. 2～H21.4. 1のもの)

### ①教育関係条例等

題 名	公布年月日	施行年月日
滝川市立高等学校教員等の定数、給与、勤務時間その他の勤務条件及び定年による退職等に関する条例の一部を改正する条例	H21. 3. 24	H21. 4. 1
滝川市立高等学校の授業料等徴収条例の一部を改正する条例	H21. 3. 24	H21. 4. 1
滝川市美術自然史館条例等の一部を改正する条例	H21. 3. 24	H21. 4. 1

### ②教育委員会規則

題 名	公布年月日	施行年月日
滝川市立幼稚園保育料等徴収条例施行規則の一部を改正する規則	H20. 5. 27	H20. 5. 27
滝川市教育委員会の権限に属する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価に関する規則	H20. 7. 30	H20. 7. 30
滝川市立学校管理規則の一部を改正する規則	H20. 7. 30	H20. 7. 30
滝川市立学校管理規則の一部を改正する規則	H21. 3. 30	H21. 4. 1
滝川市立幼稚園園則の一部を改正する規則	H21. 3. 30	H21. 4. 1
滝川市立高等学校の授業料等徴収条例施行規則の一部を改正する規則	H21. 3. 30	H21. 4. 1
滝川市公民館条例施行規則の一部を改正する規則	H21. 3. 30	H21. 4. 1
滝川市美術自然史館条例施行規則等の一部を改正する規則	H21. 3. 30	H21. 4. 1
滝川市教育委員会事務局職員の職名に関する規則の一部を改正する規則	H21. 4. 27	H21. 4. 1

## 2 教育委員会に関する事務の管理及び執行の状況の点検・評価報告書について

### (1) 点検・評価の流れについて

#### ① 点検・評価のための3つの視点

点検・評価に当たっては、次の3つの視点を持って進めました。

##### ア 市民等の視点

市民やサービスの受け手、関係する企業や団体などの公的サービスに対するニーズの多様化や変化を的確に把握し、迅速に対応できているか、お客様の視点に立って仕事のあり方を見直します。

##### イ コスト削減の視点

事業費や従事する職員の人件費などの経費を含めて全体経費を把握し、効率的・効果的な執行が図られているかどうかを点検します。

##### ウ 職場活性化の視点

職員が自らの仕事のあり方について評価することで、仕事を客観的に見つめ直し、コスト意識やサービス精神の改善につなげるとともに、一人ひとりが組織目標を常に考え、柔軟で効率性を考えた取組を進めます。

#### ② 点検・評価シートを用いた評価の実施

事業・事務の成果を分析・検証するため、所管課が作成した点検・評価シートに基づき、学識経験者等の外部評価委員と各所管課がヒアリングを実施し、内部評価に対して客観的な意見を述べてもらいました。

#### ③ 具体的な評価の内容について

点検・評価シートを用いて事業の成果を測定するとともに課題を把握し、より良い事業の展開に向けた改善へとつなげていくため、以下の3つの評価項目について、5つの着眼点により評価を行いました。

・評価項目等の一覧

評価項目	項目の説明	着眼点(各5点満点)
1 有効 適 応 性	現在の市民ニーズや社会経済情勢に照らして、事業の必要性があるかどうか、状況の変化に対応しているかどうかを評価します。目的を達成するために最も効果的な手法、内容、実施水準となっているか、他の方法がないかを評価します。	①市民ニーズや社会経済情勢の現状に適しているか。
		②事業の目的に照らして効果的な手法か。
2 目 標 達 成 度	これまでの経過や他都市の水準などと比較して、目標の設定水準が適切かどうか、事業の目的を達成するために最適な目標かどうかを評価します。併せて、その目標の達成状況を評価します。	③目標の水準は適切か。
		④計画通りに目標を達成できたか。
3 経 済 性	事業のコストがかかり過ぎていないか、最小の経費で最大の効果を発揮しているか、無駄がないかなど、経済性の面から評価します。	⑤コストは縮減しているか。

・着眼点の評価

着眼点評価	着眼点に即した取組
5	十分できている
4	できている
3	ほぼできている
2	あまりできていない
1	できていない

#### ④点検・評価報告書の作成

評価項目の得点を合計し、100点満点に換算して、下記の総合評価のランクを参考に、複数の評価項目に関連するコメント、課題・問題点などについて総合的な評価を行い点検・評価シートを作成しました。

・総合評価のランク

ランク	評価点	内 容
A	86 以上	優れた取組が多く、十分成果が上がっている
B	71～85	優れた取組がいくつかあり、成果が上がっている
C	56～70	一定の成果は上がっているが課題もあり、更なる取組によって上位を目指す必要がある
D	41～55	成果が十分に上がっておらず、改善の余地が多く、更なる改善が必要である。
E	40 以下	成果がほとんど上がっておらず、抜本的な見直しが必要である

#### (2)点検・評価報告書について

平成 20 年度は、大きく 8 項目、16 事業について点検・評価報告書を作成しました。点検・評価報告書を作成するにあたっては、内部評価及び外部評価を含めた点検・評価シートを参考に作成いたしました。



## 教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検・評価に関する報告書

<b>事業年度</b>	平成 20 年度	<b>事業番号</b>	1-1-1	<b>事業名</b>	幼稚園教育推進事業
-------------	----------	-------------	-------	------------	-----------

<b>事業の目的</b>	<p>幼児期における教育は、生涯にわたる人格形成の基礎を培う重要なものであり、子どもを取り巻く環境の変化や社会状況を踏まえた幼稚園教育を推進する。</p>
<b>事業の内容</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市内幼稚園で組織する滝川市幼稚園連絡協議会において多様化する幼稚園教育についての情報交換を行う。</li> <li>・私立幼稚園就園奨励費補助金を交付し、保育料等の保護者負担の軽減を図る。</li> </ul>
<b>事業の実績及び評価</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・就園奨励費補助金 申請 478 名      認定 404 名      32,940,600 円</li> <li>・幼稚園振興補助金 滝川幼稚園      109,200 円 滝川白樺幼稚園      108,000 円</li> <li>・滝川市幼稚園連絡協議会を開催し、特別支援教育や特色ある教育活動について情報や意見の交換を行うとともに、幼稚園振興補助金を交付し幼稚園教育の充実を図った。</li> </ul>
<b>事業の課題等 取組みの方向性</b>	<p>おおぞら幼稚園が平成 21 年度末で閉園することから、私立幼稚園への振興策や滝川市幼稚園連絡協議会のあり方について見直しが必要となる。</p>

評価シートによる判定			
総合評価 ランク	評価着眼点		
	<b>B</b> (84)	<b>適応性</b>	5
<b>有効性</b>		4	事業の目的に照らして効果的な手法か。
<b>目標達成度</b>		4	目標の水準は適切か。
<b>経済性</b>		4	計画通りに目標を達成できたか。

【評価点数】  
5:十分できている 4:できている 3:ほぼできている  
2:あまりできていない 1:できていない

【総合評価ランク】  
A : 86 点以上      優れた取組が多く、十分に成果が上がっている  
B : 71~85 点      優れた取組がいくつかあり、成果が上がっている  
C : 56~70 点      一定の成果は上がっているが課題もあり、更なる取組によって上位を目指す必要がある  
D : 41~55 点      成果が十分に上がっておらず、改善の余地が多く、更なる改善が必要である  
E : 40 点以下      成果がほとんど上がっておらず、抜本的な見直しが必要である

## 教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検・評価に関する報告書

<b>事業年度</b>	平成 20 年度	<b>事業番号</b>	1-2-1	<b>事業名</b>	確かな学力の向上を目指す教育の推進
-------------	----------	-------------	-------	------------	-------------------

<b>事業の目的</b>	児童生徒に基礎・基本を確実に定着させ、個に応じたきめ細かな学習指導の取り組みを推進する。
<b>事業の内容</b>	①少人数指導(T・T)の実践を通じて指導方法の工夫改善に取り組んだ。 ②小規模小学校における効果的な指導方法として、市費負担教諭を配置して実践研究に取り組んだ。 ③標準学力検査や、全国学力・学習状況調査を実施し、学力の実態把握と学力向上プランの作成に取り組んだ。
<b>事業の実績及び評価</b>	・全国学力・学習状況調査の平均正答率が、対前年で小学校が2ポイント、中学校で5ポイント上昇した。 ・国の定数配置制度と市費による少人数学級実践研究事業及び教育相談員の配置を進め、全校できめ細やかな学習指導の充実を図った。 ・全国学力・状況調査等の分析結果を基に、全学校が「学力向上プラン」を作成し、基礎・基本の確実な定着を図った。
<b>事業の課題等 取組みの方向性</b>	少人数指導(T・T)の実践等を通して、確かな学力の基礎・基本の確実な定着と確かな学力の向上のため検証、評価、改善を重ねることが必要である。

評価シートによる判定			
総合評価 ランク	評価着眼点		
	<b>A</b> (96)	適応性 有効性	5
		4	事業の目的に照らして効果的な手法か。
目標 達成度		5	目標の水準は適切か。
		5	計画通りに目標を達成できたか。
	経済性	5	コストは縮減しているか。

【評価点数】  
 5: 十分できている 4: できている 3: ほぼできている  
 2: あまりできていない 1: できていない

【総合評価ランク】

A : 86 点以上	優れた取組が多く、十分に成果が上がっている
B : 71～85 点	優れた取組がいくつかあり、成果が上がっている
C : 56～70 点	一定の成果は上がっているが課題もあり、更なる取組によって上位を目指す必要がある
D : 41～55 点	成果が十分に上がっておらず、改善の余地が多く、更なる改善が必要である
E : 40 点以下	成果がほとんど上がっておらず、抜本的な見直しが必要である

## 教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検・評価に関する報告書

<b>事業年度</b>	平成 20 年度	<b>事業番号</b>	1-2-2	<b>事業名</b>	適応指導教室の運営事業
-------------	----------	-------------	-------	------------	-------------

<b>事業の目的</b>	不登校児童・生徒の学校復帰を図るための相談と指導
<b>事業の内容</b>	①通級者に対して、学習意欲や進路目標を持たせ、規則正しい生活習慣の定着と自信の回復を図る。また、スクールソーシャルワーカーを配置して教育相談体制の充実を図った。 ②体験活動や集団活動をとおして協調性や社会性を身に付けさせ、対人関係の改善を図る。
<b>事業の実績及び評価</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・不登校者年度末計 H17…31人    H18…44人    H19…45人    H20…42人</li> <li>・適応指導教室通級者 H17…10人    H18…7人    H19…9人    H20…6人</li> <li>うち学校復帰者(不定期登校含む) H17…4人    H18…7人    H19…9人    H20…6人</li> </ul>
<b>事業の課題等 取組みの方向性</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教育相談をさらにすすめ、児童・生徒の学習意欲の喚起や生活習慣の改善への指導助言に努める。</li> <li>・児童生徒の不登校に係る問題行動への早期対応を図るため、学校や保護者・外部機関との連携を深める。</li> </ul>

評価シートによる判定			
総合評価 ランク	評価着眼点		
	<b>B</b> (84)	<b>適応性 有効性</b>	5
		4	事業の目的に照らして効果的な手法か。
<b>目標 達成度</b>		4	目標の水準は適切か。
		4	計画通りに目標を達成できたか。
	<b>経済性</b>	4	コストは縮減しているか。

**【評価点数】**

5:十分できている    4:できている    3:ほぼできている  
2:あまりできていない    1:できていない

**【総合評価ランク】**

A : 86 点以上    優れた取組が多く、十分に成果が上がっている  
B : 71～85 点    優れた取組がいくつかあり、成果が上がっている  
C : 56～70 点    一定の成果は上がっているが課題もあり、更なる取組によって上位を目指す必要がある  
D : 41～55 点    成果が十分に上がっておらず、改善の余地が多く、更なる改善が必要である  
E : 40 点以下    成果がほとんど上がっておらず、抜本的な見直しが必要である

## 教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検・評価に関する報告書

<b>事業年度</b>	平成 20 年度	<b>事業番号</b>	1-2-3	<b>事業名</b>	心の教育推進事業
-------------	----------	-------------	-------	------------	----------

<b>事業の目的</b>	いじめの根絶と学校におけるいじめの早期発見、早期対応の取り組みの支援												
<b>事業の内容</b>	①教育相談体制の充実を図った。 ②いじめ対策連携プロジェクト実践事業を推進した。 ③児童生徒の心に響く道徳教育推進事業を推進した。												
<b>事業の実績及び評価</b>	<table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 30%;">・教育相談員の配置校</td> <td style="width: 15%;">H18…10校</td> <td style="width: 15%;">H19…10校</td> <td style="width: 15%;">H20…10校</td> </tr> <tr> <td>・学校いじめ認知件数</td> <td>H18…66件</td> <td>H19…29件</td> <td>H20…24件</td> </tr> <tr> <td>・いじめアンケート(今もいじめを受けている児童生徒数)</td> <td>H18…204件</td> <td>H19…193件</td> <td>H20…229件</td> </tr> </table> <p>・教育相談体制の充実と道徳教育の推進に努めてきたが、市内中学校でいじめが原因となる事故が起きたことから、更なる早期発見・早期対応の強化が必要である</p>	・教育相談員の配置校	H18…10校	H19…10校	H20…10校	・学校いじめ認知件数	H18…66件	H19…29件	H20…24件	・いじめアンケート(今もいじめを受けている児童生徒数)	H18…204件	H19…193件	H20…229件
・教育相談員の配置校	H18…10校	H19…10校	H20…10校										
・学校いじめ認知件数	H18…66件	H19…29件	H20…24件										
・いじめアンケート(今もいじめを受けている児童生徒数)	H18…204件	H19…193件	H20…229件										
<b>事業の課題等 取組みの方向性</b>	・学校における生徒指導と教育相談体制の充実を図る。 ・学校の教育活動の実施体制の点検と検証を行い、指導助言に努める。 ・児童会や生徒会活動を通していじめ根絶への取り組みの充実を図る。												

評価シートによる判定			
総合評価 ランク	評価着眼点		
	<b>A</b> (88)	5	市民ニーズや社会経済情勢の現状に適しているか。
4		事業の目的に照らして効果的な手法か。	
5		目標の水準は適切か。	
3		計画通りに目標を達成できたか。	
	5	コストは縮減しているか。	

**【評価点数】**

5:十分できている 4:できている 3:ほぼできている  
2:あまりできていない 1:できていない

**【総合評価ランク】**

A : 86 点以上	優れた取組が多く、十分に成果が上がっている
B : 71～85 点	優れた取組がいくつかあり、成果が上がっている
C : 56～70 点	一定の成果は上がっているが課題もあり、更なる取組によって上位を目指す必要がある
D : 41～55 点	成果が十分に上がっておらず、改善の余地が多く、更なる改善が必要である
E : 40 点以下	成果がほとんど上がっておらず、抜本的な見直しが必要である

## 教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検・評価に関する報告書

<b>事業年度</b>	平成 20 年度	<b>事業番号</b>	1-3-1	<b>事業名</b>	高等学校教育の充実
-------------	----------	-------------	-------	------------	-----------

<b>事業の目的</b>	生徒の学習並びに進学に対する意欲の向上、就職・進学における希望進路の実現を図るとともに、スーパー・イングリッシュ・ランゲージ・ハイスクール研究開発事業の実施による英語能力の向上に力を入れるなど特色ある学校づくりを推進する。一人ひとりの能力・適性・関心に対応したきめ細かな進路指導体制を確立し、学力の向上と大学入試センター試験に対応した講習の充実を図る。
<b>事業の内容</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・1年次から進路カルテを作成することにより、3年間を見通した進路指導の充実を図る。</li> <li>・サテライト講習など進学希望者のニーズに対応した教材の提供を行う。</li> <li>・オールイングリッシュによる授業の展開と少人数指導</li> </ul>
<b>事業の実績及び評価</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・進路カルテは2年目を迎え、個人面談、三者面談などに有効に活用された。</li> <li>・サテライト講習は、今年度の受講者から、西高初の一般受験による北大合格者1人を出し、さらに、弘前大学へも2人の合格者を出した。</li> <li>・英語能力の向上については、1年目より着実に向上している。</li> </ul>
<b>事業の課題等 取組みの方向性</b>	<p>進路カルテ・サテライト講習についてはともに、進路実現を重視した事業であり、今後も教員がそれぞれの役割を果たし、連携を図りながら指導体制を充実・確立することが重要である。</p> <p>スーパー・イングリッシュ・ランゲージ・ハイスクールについて、まとめの年度となることから、この2年間の成果・課題を踏まえ、生徒の英語力向上のための、指導方法の研究開発に努める。</p>

評価シートによる判定			
総合評価 ランク	評価着眼点		
	<b>B</b> (76)	適応性 有効性	4
		4	事業の目的に照らして効果的な手法か。
目標 達成度		4	目標の水準は適切か。
		3	計画通りに目標を達成できたか。
	経済性	4	コストは縮減しているか。

**【評価点数】**

5: 十分できている 4: できている 3: ほぼできている  
2: あまりできていない 1: できていない

**【総合評価ランク】**

A : 86 点以上	優れた取組が多く、十分に成果が上がっている
B : 71~85 点	優れた取組がいくつかあり、成果が上がっている
C : 56~70 点	一定の成果は上がっているが課題もあり、更なる取組によって上位を目指す必要がある
D : 41~55 点	成果が十分に上がっておらず、改善の余地が多く、更なる改善が必要である
E : 40 点以下	成果がほとんど上がっておらず、抜本的な見直しが必要である

## 教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検・評価に関する報告書

<b>事業年度</b>	平成 20 年度	<b>事業番号</b>	2-1-1	<b>事業名</b>	家庭教育支援の推進
-------------	----------	-------------	-------	------------	-----------

<b>事業の目的</b>	<p>基本的な生活習慣や生活能力、自制心や自立心、豊かな情操、他人に対する思いやり、善悪の判断などの基本的倫理観、社会的マナーなどの基礎を子どもたちに育むことを目的とする。</p>
<b>事業の内容</b>	<p>地域全体で家庭教育の推進を図ることを目的に関係機関、団体が連携して、滝川市家庭教育支援連絡協議会を組織し、次のことを重点に取り組んでいる。※H20年度主要施策</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. あいさつ運動の推進(街頭啓発など)</li> <li>2. 家庭教育機会・情報の提供(講座の開催、情報紙の発行など)</li> </ol>
<b>事業の実績及び評価</b>	<p>小・中学校の入学時説明会を活用したミニ講話で、食育や子どもの成長に応じた生活習慣などの学習機会を提供するとともに、学校ふれあい広場を開催し、地域の人たちとの交流を通して、いたわりや、思いやりの心を学ぶ機会を提供したほか、家庭教育情報誌「ふれあい通信」の内容の充実を図り、情報提供を行った。</p> <p>また、手法の方向性について、事業の取り組みを進めながら見直しを行い修正を図っている。</p>
<b>事業の課題等 取組みの方向性</b>	<p>滝川市の家庭教育指針である「子育て10選」をより具体的に進めるための効果的な手法を調査・研究するとともに、特に、学校との連携を強化し、地域の人材も活用するなど、地域ぐるみでの支援体制づくりを進める。</p>

評価シートによる判定			
総合評価 ランク	評価着眼点		
	<b>B</b> (80)	<b>適応性 有効性</b>	5
		4	事業の目的に照らして効果的な手法か。
<b>目標 達成度</b>		3	目標の水準は適切か。
		3	計画通りに目標を達成できたか。
	<b>経済性</b>	5	コストは縮減しているか。

**【評価点数】**

5:十分できている 4:できている 3:ほぼできている  
2:あまりできていない 1:できていない

**【総合評価ランク】**

A : 86 点以上 優れた取組が多く、十分に成果が上がっている  
 B : 71～85 点 優れた取組がいくつかあり、成果が上がっている  
 C : 56～70 点 一定の成果は上がっているが課題もあり、更なる取組によって上位を目指す必要がある  
 D : 41～55 点 成果が十分に上がっておらず、改善の余地が多く、更なる改善が必要である  
 E : 40 点以下 成果がほとんど上がっておらず、抜本的な見直しが必要である

## 教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検・評価に関する報告書

<b>事業年度</b>	平成 20 年度	<b>事業番号</b>	2-1-2	<b>事業名</b>	青少年活動の推進
-------------	----------	-------------	-------	------------	----------

<b>事業の目的</b>	<p>青少年の成長段階に応じた各種体験活動等に参加する機会を提供し、青少年の豊かな社会性と人間性を育むことを目的とする。</p>
<b>事業の内容</b>	<p>1. 「滝川遊学会事業」として、子どもの元気応援団、滝川スポーツクラブ、たきかわ環境フォーラム等の関係団体やボランティアとの連携によるスポーツ、レクリエーション、自然体験などの各種体験事業の実施。※H20年度主要施策</p> <p>2. 滝川市青少年育成会と滝川市地域活動連絡協議会との連携による青少年健全育成事業の実施。</p>
<b>事業の実績及び評価</b>	<p>滝川遊学会事業のプログラム内容の充実を図るとともに、滝川子どもの元気応援団、滝川スポーツクラブ、たきかわ環境フォーラム等の主体的な事業運営により、子どもたちに各種体験事業に参加する機会を提供した。</p> <p>従来までの行政主体の運営から、関係団体やボランティア主体の運営へと着実に移行が進んでいる。</p>
<b>事業の課題等 取組みの方向性</b>	<p>今後も、滝川子どもの元気応援団、滝川スポーツクラブ、たきかわ環境フォーラム等の関係団体やボランティア等による主体的な事業運営を支援する。</p>

評価シートによる判定			
総合評価 ランク	評価着眼点		
	<b>A</b> (96)	<b>適応性</b>	5
<b>有効性</b>		5	事業の目的に照らして効果的な手法か。
<b>目標達成度</b>		5	目標の水準は適切か。
<b>経済性</b>		4	計画通りに目標を達成できたか。
		5	コストは縮減しているか。

**【評価点数】**

5: 十分にできている    4: できている    3: ほぼできている  
2: あまりできていない    1: できていない

**【総合評価ランク】**

A : 86 点以上    優れた取組が多く、十分に成果が上がっている  
B : 71～85 点    優れた取組がいくつかあり、成果が上がっている  
C : 56～70 点    一定の成果は上がっているが課題もあり、更なる取組によって上位を目指すことが必要である  
D : 41～55 点    成果が十分に上がっておらず、改善の余地が多く、更なる改善が必要である  
E : 40 点以下    成果がほとんど上がっておらず、抜本的な見直しが必要である

## 教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検・評価に関する報告書

<b>事業年度</b>	平成 20 年度	<b>事業番号</b>	2-1-3	<b>事業名</b>	生涯学習活動の推進
-------------	----------	-------------	-------	------------	-----------

<b>事業の目的</b>	生涯を通じて、健やかに充実した生活を送るために、いつでも、どこでも自由に学習機会を選択し、豊かに学び、文化に親しみ、スポーツを楽しむことができるような基盤整備をするとともに、学んだ成果を生かして社会の中で自己実現を図ることができる生涯学習社会の構築を目的とする。
<b>事業の内容</b>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1.福寿大学(各種講座・大学祭、交流事業などの実施) ※H20年度主要施策</li> <li>2.公民館事業(公民館まつり・カラオケ発表会の実施)</li> <li>3.人材バンク事業(講師登録・派遣紹介)</li> <li>4.出前講座(講師派遣)</li> <li>5.グループ・サークル活動情報提供(紹介)</li> </ol>
<b>事業の実績及び評価</b>	<p>福寿大学の各種講座内容の充実を図り、趣味や教養などを高めたほか、福寿大学祭を通して学習成果の発表や自主的に組織運営に係わる機会を提供するなど、高齢者が自己の豊かな経験や能力を生かした活動となるよう支援した。</p> <p>福寿大学祭ではバザーも実施し、運営資金の造成も行われている。</p>
<b>事業の課題等 取組みの方向性</b>	今後も、学生の自主性をより引き出し組織運営に積極的に参画できるよう、具体的な活動機会を提供し支援する。

評価シートによる判定			
総合評価 ランク	評価着眼点		
		適応性 有効性	5
		4	事業の目的に照らして効果的な手法か。
A (88)	目標 達成度	5	目標の水準は適切か。
		4	計画通りに目標を達成できたか。
	経済性	4	コストは縮減しているか。

**【評価点数】**

5:十分できている 4:できている 3:ほぼできている  
2:あまりできていない 1:できていない

**【総合評価ランク】**

A : 86 点以上 優れた取組が多く、十分に成果が上がっている  
 B : 71～85 点 優れた取組がいくつかあり、成果が上がっている  
 C : 56～70 点 一定の成果は上がっているが課題もあり、更なる取組によって上位を目指す必要がある  
 D : 41～55 点 成果が十分に上がっておらず、改善の余地が多く、更なる改善が必要である  
 E : 40 点以下 成果がほとんど上がっておらず、抜本的な見直しが必要である

## 教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検・評価に関する報告書

<b>事業年度</b>	平成 20 年度	<b>事業番号</b>	2-2-1	<b>事業名</b>	図書館活動の充実
-------------	----------	-------------	-------	------------	----------

<b>事業の目的</b>	利用者ニーズの把握や課題解決に役立つ図書・資料の充実に取り組み、読書への関心や意欲を高め、生涯にわたる読書の習慣化を目指して、読書普及事業を推進とともに、市民に親しまれ、活用される図書館として利用者サービスの向上と生涯学習活動の拠点として市民ボランティアとの協働を図る。
<b>事業の内容</b>	祝日開館、開館時間延長、インターネットコーナーの設置、子ども読書週間特別行事、読書週間事業、絵本のおはなし会(妊婦、乳幼児健診時)、絵本のおはなし会「たまたまぼこ」(月4回)、巡回文庫、図書コーナー(8ヶ所)、なかそらち図書館ネットワーク推進事業
<b>事業の実績及び評価</b>	利用者サービスの向上として、祝日開館、開館時間延長など利用時間の拡大と多様化する課題解決に役立つ図書、資料の収集・提供に取り組んだほか、インターネットコーナーの設置により情報収集をする利用者が増加している。ボランティア活動では、生涯学習活動の拠点として協働した事業の実施や読み聞かせ等の人材の育成に取り組んだ。また、読書普及として本との出会いや親しむきっかけとなるよう乳幼児期からの絵本のおはなし会の実施や図書の紹介、特設コーナーの設置、読書週間事業等を実施し、読書意欲や関心が高められるよう取り組み、絵本のおはなし会の参加者、図書の貸出冊数も増加している。
<b>事業の課題等 取組みの方向性</b>	図書館利用の促進を図るために、資料・図書等の充実と貸出・蔵書検索等が可能な電算化システムの導入が必要。図書館ボランティア活動の充実が図れるよう環境を整備することが必要である。

評価シートによる判定			
総合評価 ランク	評価着眼点		
	<b>A</b> (92)	<b>適応性</b>	4
<b>有効性</b>		5	事業の目的に照らして効果的な手法か。
<b>目標</b>		5	目標の水準は適切か。
<b>達成度</b>		5	計画通りに目標を達成できたか。
<b>経済性</b>		4	コストは縮減しているか。

【評価点数】  
5:十分できている 4:できている 3:ほぼできている  
2:あまりできていない 1:できていない

【総合評価ランク】  
A : 86 点以上 優れた取組が多く、十分に成果が上がっている  
B : 71~85 点 優れた取組がいくつかあり、成果が上がっている  
C : 56~70 点 一定の成果は上がっているが課題もあり、更なる取組によって上位を目指す必要がある  
D : 41~55 点 成果が十分に上がっておらず、改善の余地が多く、更なる改善が必要である  
E : 40 点以下 成果がほとんど上がっておらず、抜本的な見直しが必要である

## 教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検・評価に関する報告書

<b>事業年度</b>	平成 20 年度	<b>事業番号</b>	2-2-2	<b>事業名</b>	学校との連携による子どもの読書活動支援
-------------	----------	-------------	-------	------------	---------------------

<b>事業の目的</b>	学校との連携を図り、多くの子どもたちに身近な場所で本に触れる環境を整備し、本への興味と読書意欲を高められるようなきっかけをつくり、子どもの読書活動の推進と読書の習慣化を目指している。
<b>事業の内容</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・貸出事業として学校、巡回、貸出文庫、ブックキャラバン</li> <li>・読書推進事業として学校訪問、図書館訪問、連絡会議、レインボー通信、おすすめ本の紹介、読書アルバムの配布、ブックフェスティバルの開催、PTA ボランティアへの図書整備等の支援、読み聞かせ等</li> </ul>
<b>事業の実績及び評価</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・子どもの読書活動の支援として子どもが身近な場所で気軽に読書できるよう環境の整備と本への興味づけや読書意欲を高められるようなきっかけづくりとしておすすめ本の紹介ちらし、読書アルバムの配布、ブックフェスティバルの開催などに取り組んでいる。</li> <li>・貸出事業として巡回文庫、学校貸出、貸出文庫等があり、朝読書や家読書等に活用され、特に、貸出文庫の登録数、利用件数、貸出冊数が増加している。また、読書アルバムも活用され、100冊毎の達成者も年々増加してきており、子どもの読書量も増加傾向になっている。</li> </ul>
<b>事業の課題等 取組みの方向性</b>	子どもの読書活動が活発化し、読書への興味も高まってきていることから継続して事業に取り組む。課題として、学校貸出、貸出文庫等の運用方法の改善や図書利用の増加に伴う絵本・児童書等の充実、将来に向けた学校図書館とのネットワーク化の検討が必要である。

評価シートによる判定			
総合評価 ランク	評価 着 眼 点		
	<b>A</b> (96)	適応性	5
有効性		5	事業の目的に照らして効果的な手法か。
目 標		5	目標の水準は適切か。
達成度		5	計画通りに目標を達成できたか。
経済性		4	コストは縮減しているか。

**【評価点数】**

5: 十分できている 4: できている 3: ほぼできている  
2: あまりできていない 1: できていない

**【総合評価ランク】**

A : 86 点以上 優れた取組が多く、十分に成果が上がっている  
 B : 71～85 点 優れた取組がいくつかあり、成果が上がっている  
 C : 56～70 点 一定の成果は上がっているが課題もあり、更なる取組によって上位を目指す必要がある  
 D : 41～55 点 成果が十分に上がっておらず、改善の余地が多く、更なる改善が必要である  
 E : 40 点以下 成果がほとんど上がっておらず、抜本的な見直しが必要である

## 教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検・評価に関する報告書

<b>事業年度</b>	平成 20 年度	<b>事業番号</b>	3-1-1	<b>事業名</b>	芸術文化の振興
-------------	----------	-------------	-------	------------	---------

<b>事業の目的</b>	地域文化活動を担う人材育成事業の展開 住みたくなるまちづくりと子どもの芸術文化活動への環境づくり 個性ある豊かな地域文化の実現と環境づくり まちなか賑わいと文化施設の活性化
<b>事業の内容</b>	「たきかわ文化村推進委員会」事業補助 「風がみつけた街」たきかわ音楽祭の支援 本物の舞台芸術体験事業、学校への芸術家派遣事業 札幌滝川公演・演劇公演事業・市民文化祭事業 文化ゾーンの魅力ある取り組みとたきかわホール事業との連携 たきかわホール、文化センターの効率的な運営 陶芸センターの充実した講座の展開と発表の場の確保
<b>事業の実績及び評価</b>	「風がみつけた街」たきかわ音楽祭は、開催時期を変更して学生たちが参加しやすい事業として実施した。  学生たちが多く参加することにより来場されるお客さまも増え、「風がみつけた街」音楽祭事業は成果が見られた。
<b>事業の課題等 取組みの方向性</b>	文化芸術の振興には、市民と行政との協働により達成されるものであり、幅広い人材の発掘と裾野の拡大が必要とされており、多くの市民の方々の参加が望まれる事業となる取り組みも必要とされている。

評価シートによる判定			
総合評価 ランク	評価着眼点		
	<b>A</b> (92)	適応性 有効性	5
		4	事業の目的に照らして効果的な手法か。
目標 達成度		4	目標の水準は適切か。
		5	計画通りに目標を達成できたか。
経済性		5	コストは縮減しているか。

【評価点数】  
 5:十分できている 4:できている 3:ほぼできている  
 2:あまりできていない 1:できていない

【総合評価ランク】

A : 86 点以上	優れた取組が多く、十分に成果が上がっている
B : 71～85 点	優れた取組がいくつかあり、成果が上がっている
C : 56～70 点	一定の成果は上がっているが課題もあり、更なる取組によって上位を目指す必要がある
D : 41～55 点	成果が十分に上がっておらず、改善の余地が多く、更なる改善が必要である
E : 40 点以下	成果がほとんど上がっておらず、抜本的な見直しが必要である

## 教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検・評価に関する報告書

<b>事業年度</b>	平成 20 年度	<b>事業番号</b>	3-1-2	<b>事業名</b>	歴史的文化遺産の保存と活用
-------------	----------	-------------	-------	------------	---------------

<b>事業の目的</b>	歴史的構造物及び史跡標柱の整備、保存及び活用 文化財マップの作成と活用を通して歴史的文化遺産の周知を図る 地域の歴史や自然など魅力の再発見に努める
<b>事業の内容</b>	文化財保護審議会の開催と新たな文化財の指定への取り組み 文化財マップを活かした文化遺産の広報 岩橋ふるさと北辰桜並木事業
<b>事業の実績及び評価</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・桜並木造成事業において、桜の植樹と併せて桜サポーターの登録を進めた。</li> <li>・滝川市にとって貴重な文化財の保存や先人たちの辿った滝川市の歴史を後世に伝えることは大事なことと考え、事業の継続が望まれる。</li> </ul>
<b>事業の課題等 取組みの方向性</b>	桜並木造成事業における長いスパンでの整備設計が今後の課題となっている。 文化財の老朽化など、補修が必要となるため今後の整備計画が課題である。

評価シートによる判定			
総合評価 ランク	評価 着 眼 点		
	<b>B</b> (84)	<b>適応性</b>	4
<b>有効性</b>		4	事業の目的に照らして効果的な手法か。
<b>目標達成度</b>		5	目標の水準は適切か。
<b>経済性</b>		4	計画通りに目標を達成できたか。
<b>経済性</b>		4	コストは縮減しているか。

【評価点数】  
5:十分できている 4:できている 3:ほぼできている  
2:あまりできていない 1:できていない

【総合評価ランク】

A : 86 点以上	優れた取組が多く、十分に成果が上がっている
B : 71～85 点	優れた取組がいくつかあり、成果が上がっている
C : 56～70 点	一定の成果は上がっているが課題もあり、更なる取組によって上位を目指す必要がある
D : 41～55 点	成果が十分に上がっておらず、改善の余地が多く、更なる改善が必要である
E : 40 点以下	成果がほとんど上がっておらず、抜本的な見直しが必要である



## 教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検・評価に関する報告書

<b>事業年度</b>	平成 20 年度	<b>事業番号</b>	3-1-4	<b>事業名</b>	企画展開催事業
-------------	----------	-------------	-------	------------	---------

<b>事業の目的</b>	地域固有の課題に応える博物館として、創業60周年を迎えた北門信用金庫が所蔵する美術コレクションの中から、北海道美術史を形作る作品の数々を紹介する、北門信用金庫コレクションによる「北海道美術の潮流展」、自然史の収蔵資料を活用して、太古から地球のたどった道のりを知り、人と地球がどのように関わっていくべきかを、子どもたちをはじめ一般市民へ発信する「MESSAGE-太古からの警告展」を開催することで、ふるさとの魅力を再発見し、博物館の活性化を図る。
<b>事業の内容</b>	北門信用金庫コレクションによる「北海道美術の潮流展」は、北門信用金庫の全面的な協力により、所蔵するコレクションの中から岩橋英遠、片岡珠子らの作品 44 点ほか歴代のカレンダーを紹介(3,887 人)。また、講演会やギャラリートーク、ロビーコンサート、芸術鑑賞バスツアー等(参加者のべ 481 人)の関連事業を開催。 「MESSAGE-太古からの警告展」は、自然史の資料を活用した展示(3,057 人)と、北海道化石会の協力による講演会、化石クリーニングのほか、ナイトミュージアムツアー等(参加者のべ 366 人)の関連事業を開催した。
<b>事業の実績及び評価</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「MESSAGE-太古からの警告展」 会期 平成 20 年 7 月 12 日～8 月 17 日 企画展入館者 1,780 人、関連事業参加者 142 人</li> <li>・北門信用金庫コレクションによる「北海道美術の潮流展」 会期 平成 20 年 9 月 20 日～10 月 19 日 企画展入館者 1,563 人、関連事業参加者 455 人 質の高い企画展であるとの評価を得ており、博物館の活性化が図られた。</li> </ul>
<b>取組みの方向性 事業の課題等</b>	地域固有の課題に応える博物館として、多くの市民に心の豊かさを感じてもらい、ふるさとに誇りを持ってもらえる魅力ある企画展を開催する必要がある。また、開催にあたっては、補助金等の有効活用を図るなどコスト削減に努めるとともに、集客や事業の広がりを持たせるためにも、企業・団体・学校等との連携、他館とのネットワークを深めることが重要である。

評価シートによる判定			
総合評価 ランク	評価 着 眼 点		
	<b>A</b> (96)	<b>適応性</b>	5
<b>有効性</b>		5	事業の目的に照らして効果的な手法か。
<b>目標達成度</b>		5	目標の水準は適切か。
<b>経済性</b>		4	計画通りに目標を達成できたか。
<b>経済性</b>		5	コストは削減しているか。

【評価点数】  
5:十分できている 4:できている 3:ほぼできている  
2:あまりできていない 1:できていない

【総合評価ランク】  
A : 86 点以上 優れた取組が多く、十分に成果が上がっている  
B : 71～85 点 優れた取組がいくつかあり、成果が上がっている  
C : 56～70 点 一定の成果は上がっているが課題もあり、更なる取組によって上位を目指す必要がある  
D : 41～55 点 成果が十分に上がっておらず、改善の余地が多く、更なる改善が必要である  
E : 40 点以下 成果がほとんど上がっておらず、抜本的な見直しが必要である

## 教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検・評価に関する報告書

<b>事業年度</b>	平成 20 年度	<b>事業番号</b>	4-1-1	<b>事業名</b>	生涯スポーツ・体力づくりの推進
-------------	----------	-------------	-------	------------	-----------------

<b>事業の目的</b>	各種スポーツイベントの推進、健康・体力づくりの充実化、各種施設の管理と有効活用を図り、「市民一人一スポーツ」推進のために、(財)滝川市体育協会並びにその加盟団体と連携し、スポーツ施設の効率的な運営管理とサービス向上を図ることを目的とする。
<b>事業の内容</b>	市および(財)滝川市体育協会、滝川市体育指導委員会のほか、平成 19 年 2 月 25 日に設立した総合型地域スポーツクラブ「滝川スポーツクラブ」などと連携し、料金設定したさまざまなスポーツ教室(エアロビクス・ヨガ・幼児運動・水泳・ジョギング・スケート・スキー等)とスポーツイベント(スノーレク・10 人 11 脚大会・スポーツ塾・体力チェック等)を年間通して開催し、健康増進を図る機会を提供した。 ※パンフレットの作成や広報誌などによるPR募集を行った。
<b>事業の実績及び評価</b>	高齢者の健康維持と生活習慣病予防・介護予防を図るため、市民のニーズに合った教室の開催と、将来を見据えて幼児から基礎的な運動をする機会を提供した。さらに、新しい教室(ジョギング・マラソン教室、スポーツ塾、ヨガ教室)を増やし、参加者数の拡大を図った結果、平成 20 年度は開催事業の参加延べ人数が前年度実績の約 25%(平成 18 年度実績の約 60%)増加し、スポーツクラブ会員数も目標 200 人を上回る 294 人となった。 また、事業については、滝川スポーツクラブや(財)滝川市体育協会が指導ノウハウを生かして行い、参加者からも負担をいただきながら事業を進めた。
<b>取組みの方向性</b>	事業の課題等 各スポーツ教室およびスポーツイベントの開催は、介護予防およびメタボリックシンドロームなど健康ブームによる社会的・市民的ニーズが高いため、今後も市民が気軽に参加できる場を提供するほか、指導者の確保が必要であり、より一層滝川スポーツクラブや(財)滝川市体育協会、関係部署と連携が必要である。

評価シートによる判定			
総合評価 ランク	評価 着 眼 点		
	A (100)	適応性	5
有効性		5	事業の目的に照らして効果的な手法か。
目 標		5	目標の水準は適切か。
達成度		5	計画通りに目標を達成できたか。
経済性		5	コストは縮減しているか。

【評価点数】  
5: 十分にできている 4: できている 3: ほぼできている  
2: あまりできていない 1: できていない

【総合評価ランク】  
A: 86 点以上 優れた取組が多く、十分に成果が上がっている  
B: 71~85 点 優れた取組がいくつかあり、成果が上がっている  
C: 56~70 点 一定の成果は上がっているが課題もあり、更なる取組によって上位を目指す必要がある  
D: 41~55 点 成果が十分に上がっておらず、改善の余地が多く、更なる改善が必要である  
E: 40 点以下 成果がほとんど上がっておらず、抜本的な見直しが必要である

## 教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検・評価に関する報告書

<b>事業年度</b>	平成 20 年度	<b>事業番号</b>	4-1-2	<b>事業名</b>	競技スポーツ環境の充実及び支援
-------------	----------	-------------	-------	------------	-----------------

<b>事業の目的</b>	各種スポーツイベントの推進、各種施設の管理と有効活用を図るほか、スポーツ著名人による実技研修会の開催や各種全道全国大会の誘致により、一流選手のプレーを直接観ることや、競技に参加することで、競技力向上や競技スポーツへの興味・関心を高める機会を提供し、底辺の拡大を図ることを目的とする。
<b>事業の内容</b>	(財)滝川市体育協会と連携し、北海道室内棒高跳大会および日本ハム野球教室など毎年継続開催することで、市民(特に子どもたち等若い世代)に一流選手のプレーを観戦してもらい関心を高めてもらったほか、直接実技指導を受けてもらい、技術の向上を図った。また、地域の自然環境を生かしたスポーツ・レクリエーションの場として、夏は海洋性スポーツが体験できる施設・海洋センターで子どもたちにカヌーやヨットを通して感動体験を提供したほか、冬は北電スロープやスケートリンクで冬期間の体力づくりを図る機会を提供した。
<b>事業の実績及び評価</b>	(財)滝川市体育協会および加盟団体等と連携し、プロ野球イースタンリーグの開催のほか、全国・全道大会を 12 大会を開催した。(平成 19 年度は 14 大会開催)特に、日本ハムのプロ選手による野球教室での実技指導を受ける機会と観戦する機会を提供した。 また、海洋センター利用者数は、全国2位で特 A 評価を受賞し、平成 15 年度からの6年連続受賞となった。さらに、冬期間スポーツとしては北電スロープとスケートリンクを開設し、市内外の子どもたちに冬の健康・体力づくりの場を提供した。 結果として、軟式野球、陸上競技、水泳競技、バドミントン競技、カヌー競技で 10 名・1団体 が全道優勝し、全国大会に出場した。
<b>取組みの方向性 事業の課題等</b>	①老朽化するスポーツ施設の年次の計画整備が必要である。 ②各競技団体と連携した全道・全国大会に出場できる選手の指導・養成が必要である。 ③(財)滝川市体育協会加盟団体の育成支援・強化が必要である。

評価シートによる判定			
総合評価 ランク	評価 着 眼 点		
	A (96)	適応性 有効性	5
5			事業の目的に照らして効果的な手法か。
目 標 達成度		5	目標の水準は適切か。
		5	計画通りに目標を達成できたか。
経済性		4	コストは縮減しているか。

【評価点数】  
5:十分できている 4:できている 3:ほぼできている  
2:あまりできていない 1:できていない

【総合評価ランク】  
A : 86 点以上 優れた取組が多く、十分に成果が上がっている  
B : 71~85 点 優れた取組がいくつかあり、成果が上がっている  
C : 56~70 点 一定の成果は上がっているが課題もあり、更なる取組によって上位を目指すことが必要である  
D : 41~55 点 成果が十分に上がっておらず、改善の余地が多く、更なる改善が必要である  
E : 40 点以下 成果がほとんど上がっておらず、抜本的な見直しが必要である